

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2017-171448 (P2017-171448A)  
【公開日】平成 29 年 9 月 28 日 (2017.9.28)  
【年通号数】公開・登録公報 2017-037  
【出願番号】特願 2016-59271 (P2016-59271)  
【国際特許分類】

**B 6 5 G 1/137 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 G 1/137 F

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 25 日 (2019.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

荷物を含む画像および当該画像内の荷物を特定する荷物特定情報に基づき、当該荷物に投影する投影画像を生成する投影指示装置であって、

プロセッサと、

メモリと、を備え、

前記プロセッサは、前記メモリと協働して、

前記荷物特定情報に基づき、荷物を拾い上げるべき領域であって、搬送コンベヤの搬送方向における特定長さで区画された領域である特定領域を判定し、

前記荷物が前記特定領域に存在する場合に、前記投影画像を投影する、  
投影指示装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の投影指示装置であって、

前記画像は、各画素が撮像位置からの距離を示す距離情報を含む距離画像である、  
投影指示装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の投影指示装置と、荷物に貼付されたラベルから荷物特定情報を読み取るラベルリーダと、画像を取得する画像センサと、投影画像を前記荷物に投影する映像出力装置と、を備える荷物仕分けシステム。

【請求項 4】

荷物を含む画像および当該画像内の荷物を特定する荷物特定情報に基づき、当該荷物に投影する投影画像を生成する投影指示方法であって、

プロセッサがメモリと協働して、

前記荷物特定情報に基づき、荷物を拾い上げるべき領域であって、搬送コンベヤの搬送方向における特定長さで区画された領域である特定領域を判定し、

前記荷物が前記特定領域に存在する場合に、前記投影画像を投影する、  
投影指示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本開示は、荷物を含む画像および当該画像内の荷物を特定する荷物特定情報に基づき、当該荷物に投影する投影画像を生成する投影指示装置であって、プロセッサと、メモリと、を備え、前記プロセッサは、前記メモリと協働して、前記荷物特定情報に基づき、荷物を拾い上げるべき領域であって、搬送コンベヤの搬送方向における特定長さで区画された領域である特定領域を判定し、前記荷物が前記特定領域に存在する場合に、前記投影画像を投影する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本開示は、荷物を含む画像および当該画像内の荷物を特定する荷物特定情報に基づき、当該荷物に投影する投影画像を生成する投影指示方法であって、プロセッサがメモリと協働して、前記荷物特定情報に基づき、荷物を拾い上げるべき領域であって、搬送コンベヤの搬送方向における特定長さで区画された領域である特定領域を判定し、前記荷物が前記特定領域に存在する場合に、前記投影画像を投影する。